

2025年度  
広島文教大学一般選抜(前期A日程)問題

日 本 史

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 本冊子は11ページあります。落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所を見いだした場合は、すみやかに監督者に申し出なさい。
3. 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
4. 受験票に記載された受験番号を、本冊子と解答用紙の指定欄にはっきりと記入しなさい。
5. この科目の試験時間は70分です。
6. 本冊子は試験終了後、解答用紙とともに提出しなさい。

受 験 番 号			

〔I〕 次のA～Cの史料について、それぞれの問いに答えよ。

A

①尾張国②郡司(あ)百姓等(い)解し申し請ふ官裁の事  
裁断せられむことを請ふ、当国の③守④藤原朝臣元命、三箇年の内に責め取る非法の  
官物并せて濫行横法三十一箇条の(う)□□

(中略)

一……守元命朝臣、京より下向する度毎に、(え)有官、(お)散位の(か)従類、同じき不善  
の輩を引率するの事。

(中略)

永延二年十一月八日 郡司百姓等

(原漢文)

(尾張国解文)

- 注 (あ) この時代では公民のこと (い) 上申を行うのに用いられた文書の様式  
(う) 愁訴状 (え) 位に応じた官職についている者  
(お) 位階のみで官職についていない者  
(か) 従属する家来や一族の人々の総称

問1 下線部①の「尾張国」が該当する現在の県名を、漢字2文字で書け。

問2 下線部②の「郡司」および郡の説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 大宝令制定以前、郡は評こおりと表記された。  
イ 郡を管轄する郡司は、中央より派遣された。  
ウ 地方では、郡司が答罪までの裁判権をもった。  
エ 郡には郡家(郡衙)が設けられ、租を蓄える正倉が置かれた。

問3 下線部③の「守」は、やがて何と呼ばれるようになったか。次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 遙任 イ 目代 ウ 押領使 エ 受領

問4 下線部④の「藤原」氏の説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 藤原頼通は、後一条・後朱雀・後冷泉天皇の時代に摂政・関白をつとめた。
- イ 藤原冬嗣は、大学別曹として勸学院を設置した。
- ウ 藤原不比等の子の武智麻呂以来、その子孫である南家は藤原氏一族の中で優越した地位を独占した。
- エ 藤原不比等は、娘の宮子を文武天皇に、文武の子である後の聖武天皇に娘の光明子を嫁がせて、天皇家と密接な関係を築いた。

問5 史料Aの前後の時期の歴史的な出来事について、次のア～エを起こった順に並び替えよ。

- ア 陸奥北部で豪族安倍氏が国司と争うなか、源頼義が子の義家とともに安倍氏と戦い、これを滅ぼした。
- イ 平将門が、下総を根拠地にして一族と争いを続け、国司とも対立するようになって内乱を引き起こした。
- ウ 延久の荘園整理令が出され、中央に記録荘園券契所が設置された。
- エ 上総で平忠常の乱が起こると、源頼信は乱を鎮圧して、源氏の東国進出のきっかけをつくった。

問6 史料Aの前後の時期の歴史的な出来事についての説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア この時期の中央における重要問題は、内裏の近衛の陣で行われる陣定という会議で、公卿各自の意見が求められ、天皇の決裁の参考とされた。
- イ 一定の領域を開発した開発領主の一部は貴族・大寺社に土地を寄進して自身は荘官となり、貴族・大寺社は摂関家・天皇家などに重ねて寄進して、寄進地系荘園が形成された。
- ウ 延喜の荘園整理令により、律令制に依拠して、戸籍・計帳の作成や班田収授を実施した。
- エ 清和源氏や桓武平氏など代々武名と武芸を継承する兵の家（軍事貴族）が成立した。

B

(あ)当世の俗習にて、異国船の(い)入津ハ①長崎に限たる事にて、別の浦え船を寄ル  
事ハ決して成らざる事ト思おもえ。……(う)当時長崎に嚴重に(え)石火矢の備有て、却て  
安房・相模の海港に其備なし。此事甚不審。細カに思へば江戸の日本橋より(お)唐、  
阿蘭陀迄境なしの水路也。然ルを此に備へずして長崎にのミ備ルは何ぞや。

(海国兵談)

注 (あ) 世間一般の習慣 (い) 入港 (う) 現在 (え) 大砲のこと  
(お) 中国のことで、当時は清国

問1 史料Bの著者を、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 近藤重蔵 イ 林子平 ウ 間宮林蔵 エ 柴野栗山

問2 史料Bは発禁処分となったが、同時期に著書の発禁処分を受けた者を、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 本居宣長 イ 曲亭馬琴 ウ 高野長英 エ 山東京伝

問3 史料Bの発禁処分を下した者を次のア～エの中から一つ選べ。

ア 徳川吉宗 イ 水野忠邦 ウ 田沼意次 エ 松平定信

問4 史料Bの発禁処分を下した時期の幕府の政策として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 七分積金 イ 旧里帰農令 ウ 上知令 エ 棄捐令

問5 下線部①の「長崎」は、ナポレオン戦争の余波で外国船に侵入された。その出来事を次のア～エの中から一つ選べ。

ア フェートン号事件 イ ゴローウニン事件 ウ モリソン号事件  
エ シーボルト事件

C

第四条 皇居又ハ<sup>あんざいしよ</sup>(あ)行在所<sup>へだた</sup>ヲ距ル三里以内ノ地ニ住居又ハ<sup>きしゆく</sup>寄宿スル者ニシテ、内乱ヲ陰謀シ又ハ<sup>きょうさ</sup>教唆シ又ハ<sup>ぼうがい</sup>治安ヲ妨害スルノ<sup>おそれ</sup>虞アリト認ムルトキハ、警視総監又ハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ経、期日又ハ時間ヲ限り退去ヲ命シ、三年以内同一ノ距離内ニ出入寄宿又ハ住居ヲ禁スルコトヲ得。

(官報)

注 (あ) 天皇の行幸などの際に臨時に滞在する場所

問1 史料Cは法令であるが、その名称を次のア～エの中から一つ選べ。

ア 集会条例 イ 保安条例 ウ 治安警察法 エ 治安維持法

問2 史料Cが出された時の首相の氏名を、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 伊藤博文 イ 黒田清隆 ウ 山県有朋 エ 井上馨

問3 史料Cは、三大事件建白運動に対抗するために出されたが、この運動の要求項目として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 言論・集会の自由 イ 国会の開設 ウ 地租の軽減  
エ 外交失策の回復 (対等条約の締結)

問4 史料Cの前後の時期の歴史的な出来事について、次のア～エを起こった順に並び替えよ。

ア 大日本帝国憲法が發布された。  
イ 内閣制度が制定された。  
ウ 市制・町村制が公布された。  
エ 自由党が結党された。

〔Ⅱ〕 次のA～Eの文章を読んで、後の問いに答えよ。

- A 南北朝の動乱期において、足利尊氏が弟の（ a ）を敗死させるなど、幕府の混乱は深まった。幕府は地方武士を動員するために、その統轄者である①守護の権限を拡大し、半済令によって軍費調達のために一国内の荘園・公領の年貢の半分を徴発する権限を認めた。荘園や公領の領主が年貢徴収を守護に請け負わせる（ b ）も盛んに行われるようになった。
- B 南北朝の動乱は、②足利義満が将軍になる頃におさまった。義満は、南朝側と交渉して南北朝の合体を実現し、強大となった守護の統制をはかって、外様の有力守護である（ c ）氏、山名氏、大内氏などを攻撃した。また、出家後に作った山荘北山殿に（ d ）を建設した。
- C ③室町幕府の機構が整備され、将軍を補佐し、侍所・政所などの中央諸機関を統括し、守護に対して将軍の命令を伝達する（ e ）が置かれ、細川・斯波・畠山氏が交代で任命されるようになった。また、京都内外の警備や刑事裁判を管轄する侍所の長官（所司）には、赤松・一色・山名・京極の4氏から任命されることが慣例となり、（ f ）と呼ばれた。
- D 関東の統治を重視した室町幕府は、鎌倉に鎌倉公方と鎌倉府を置いた。鎌倉公方は代々（ g ）の子孫が受け継ぎ、それを補佐する関東管領は（ h ）氏が世襲した。
- E 6代将軍足利義教は将軍権力の強化を狙って専制的な政治を行い、幕府に反抗的な鎌倉公方（ i ）を攻め滅ぼした。その後も義教は有力守護を弾圧したため、有力守護の一人である（ j ）に殺害された。

問1 本文中の空欄 a～j にあてはまる語句を、次のア～ノの中から一つずつ選べ。

- ア 足利直義    イ 渋川    ウ 執権    エ 北畠親房    オ 足利持氏  
カ 守護請    キ 管領    ク 上杉    ケ 銀閣    コ 地下請  
サ 伊勢    シ 畠山満家    ス 足利基氏    セ 奥州探題    ソ 地頭請  
タ 赤松満祐    チ 土岐    ツ 四職    テ 小笠原    ト 金閣  
ナ 政所執事    ニ 羽州探題    ヌ 足利義持    ネ 足利直冬    ノ 引付

問2 下線部①の「守護」に関連して、鎌倉時代における守護についての説明として誤っているものを次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 守護は原則として各国に一人ずつ、すべて西国出身の有力御家人が任命された。
- イ 戦時には軍事指揮官として国内の御家人を指揮して、平時は大犯三カ条など治安維持や警察権の行使に当たった。
- ウ 東国では国衙の在庁官人を支配し、地方行政官としての役割も果たした。
- エ 源頼朝は、軍勢を京都に送って後白河法皇にせまり、源義経追討を名目にして諸国に守護を任命する権利を獲得した。

問3 下線部②の「足利義満」の説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 全国の商工業の中心で政権の所在地でもあった京都の市政権や諸国に課する段銭の賦課権など、朝廷が保持していた権限を幕府の管轄下においた。
- イ 朝廷でもめざましい昇進を遂げて、将軍を辞した後に太政大臣となったが、出家後は幕府・朝廷からすべて引退した。
- ウ 京都の室町に花の御所と呼ばれる壮麗な邸宅を築いた。
- エ 明と国交を開き、明より「日本国王源道義」宛の返書が与えられた。

問4 下線部③の「室町幕府」に関連する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 幕府は、古くからの足利氏の家臣、守護の一族、有力な地方武士を集めて奉公衆と呼ばれる直轄軍を編成した。
- イ 幕府の財政は、将軍の直轄領である御料所からの収入、守護の分担金、地頭・御家人に対する賦課金などでまかなわれた。
- ウ 京都で高利貸を営む土倉や酒屋に土倉役・酒屋役を課し、交通の要所に関所を設けて関銭・津料を徴収した。
- エ 一般の守護は平時には領国にあってその経営に力を注ぎ、幕府に求められたときに上京した。

問5 室町時代の歴史的な出来事について、次のア～エを起こった順に並び替えよ。

- ア 将軍権力の弱体化にともなって、有力守護家や将軍家にあいついで内紛が起こり、それらを契機にして応仁の乱が勃発した。
- イ 嘉吉の徳政一揆が起き、数万人の土一揆が京都を占拠したため、幕府は要求を受け入れて徳政令を出した。
- ウ 農民や都市民らが徳政を求め、京都の土倉や酒屋などを襲って、質物や売買・貸借証文を奪う正長の徳政一揆が起きた。
- エ 南山城地方で両派に分かれて抗争していた畠山氏の軍を国外に退去させた山城の国一揆が勃発した。

問6 AからEまでの時期は室町文化が栄えた時期である。この時期の文化・社会についての説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 動乱の中で成長してきた新興武士たちの新しいものの好きの気質は、派手・ぜいたくを意味する「バサラ」の名で呼ばれた。
- イ 臨済宗が武家社会の上層に広まり、室町幕府の保護のもとで栄え、南宋の官寺の制にならった五山・十刹の制が完成された。
- ウ 茶の湯において、千利休が出て、茶と禅の統一を主張し、茶室で心の静けさを求める侘茶を創出した。
- エ 観世座から出た観阿弥・世阿弥父子は、将軍義満の保護を受け、芸術性の高い猿楽能を完成した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、本文中の空欄 a～j にあてはまる語句・人名を、下のア～ノの中から一つずつ選べ。

政治の現状に対する民衆の不満の強さを実感した元老は、大隈重信を首相とし、大隈は  を政権与党とした。その後に陸軍軍人の  が首相となったが、 が起きたことの原因を追究されて辞職した。直後、立憲政友会の  が首相となり、平民宰相と呼ばれたが、暗殺された。後継者として  が首相となったが、短期で退陣した。そして、海軍軍人の加藤友三郎が首相となり、続いて、海軍出身の山本権兵衛が首相となったが、無政府主義者によって摂政の裕仁親王が狙撃された  が起こり、山本は辞職した。直後、元老らは枢密院議長であった  を首相として指名したが、憲政会・立憲政友会・ は、超然内閣の出現として批判し、第2次護憲運動を起こした。総選挙でこの護憲三派は勝利し、憲政会の  が首相となり、 を実現させた。

〔語群〕

ア 大正政変    イ 西園寺公望    ウ 文官任用令改正    エ 高橋是清  
オ 桂太郎    カ 大逆事件    キ 寺内正毅    ク 立憲同志会    ケ 虎ノ門事件  
コ 普通選挙法    サ 日比谷焼打ち事件    シ 工場法    ス 立憲民政党  
セ 米騒動    ソ 田中義一    タ 清浦奎吾    チ シーメンス事件  
ツ 小選挙区制    テ 血盟団事件    ト 重要産業統制法    ナ 原敬  
ニ 立憲国民党    ヌ 革新倶楽部    ネ 若槻礼次郎    ノ 加藤高明

[IV] 次のA～Eの文章の空欄にあてはまる語句・人名を書き、下線部に該当する場所を次ページの地図のア～トの中から一つずつ選べ。

A この地の□に籠城して、旧幕府海軍の榎本武揚らは、新政府軍と抗戦した。

B この地の□京に持統天皇は遷都した。

C 1891年、この地の□銅山の鉱毒が農漁業に深刻な被害をもたらした公害事件が発生した。

D この地の陣屋を、大塩門弟と称した国学者の□が襲撃した。

E 豊臣秀吉は、1590年に諸大名を動員してこの地の□氏を攻め滅ぼした。

